

富山大学大学院理工学教育部

修士課程（理学領域）入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学大学院理工学教育部修士課程（理学領域）の6専攻では次のような入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を設けています。

数学専攻

事象の数理構造を見極める論理的思考力とコミュニケーション能力さらに数理科学の深い知識とその応用への視点を併せ持つ人材の育成、教育現場で深い専門知識に裏打ちされより質の高い教育を行いうる人材、および、現場での問題解決に数学を活用できる人材の育成を目指す。数学専攻では次の3点を求めます。

- ・ 数学、数理科学に対する知的好奇心と自ら進んで学ぶ熱意に富む人
- ・ 柔軟な発想と緻密な論理的思考による課題探求能力に富む人
- ・ 数学の基礎学力、基礎的研究能力、英語論文読解力に富む人

物理学専攻

自然界のさまざまな現象に好奇心を抱き、

- ・ これらを物理学的な視点から解明することに熱意を抱く人
- ・ 物理学をとおして社会に貢献したいという気概をもつ人

化学専攻

社会に出て即戦力となるよう自ら課題を設定し、それを解決していく能力を有する人材の育成に努めるため以下のような人を求めています。

- ・ 化学の高度で幅広い知識と技術を求めようと意欲のある人
- ・ 狭い専門領域にとらわれず、広く学問全般に対する探究心旺盛な人
- ・ 最先端の問題探求と解決に対し意欲を持っている人

生物学専攻

生き物と生命現象に関心を持ち、

- ・ 基礎的な学力のある勉学意欲に満ちた人
- ・ 生物学の知識と技術を生かし社会で活躍することを目指す人

地球科学専攻

- ・ 大学卒業までの基礎学力を身につけている人
- ・ 地球科学の専門的な研究を行いたい人
- ・ 未解明の問題に挑戦したい人
- ・ 地球科学の知識、視点を将来の専門的な職業に生かしたい人

生物圏環境科学専攻

環境科学に関連する学際的な知識と思考力を持った行動的な人材の育成を目指す。

- ・ 高度な専門知識と技術を生かした職に就こうと考えている人
- ・ 自然現象に強い興味をもち、環境問題について関心の高い人
- ・ 国際的に活躍しようという意欲のある人

2次募集実施日程

専攻	一般入試		特別入試			合格発表日
	出願期間	試験日	出願期間	試験日		
数 学	平成28年 1月6日(水) ～ 1月8日(金)	平成28年 2月3日(水)	平成28年 1月6日(水) ～ 1月8日(金)	社会人 ・ 外国人 留学生	平成28年 2月3日(水)	平成28年 2月12日(金)
物 理 学	10月28日(水) ～ 10月30日(金)	11月26日(木)	10月28日(水) ～ 10月30日(金)	外国人 留学生	11月26日(木)	12月4日(金)
化 学						
生 物 学	平成28年 1月6日(水) ～ 1月8日(金)	平成28年 2月3日(水)	平成28年 1月6日(水) ～ 1月8日(金)	外国人 留学生	平成28年 2月3日(水)	平成28年 2月12日(金)
地 球 科 学						
生物圏環境科学				社会人 ・ 外国人 留学生		

※専攻によって、出願期間、試験日が異なりますのでご留意願います。

目 次

一 般 入 試

1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 選抜方法	5

社 会 人 特 別 入 試

1. 募集人員	6
2. 出願資格	6
3. 選抜方法	6

外 国 人 留 学 生 特 別 入 試

1. 募集人員	7
2. 出願資格	7
3. 選抜方法	7

共 通 事 項

1. 出願期間	8
2. 出願手続	8
3. 出願資格認定申請について	9
4. 合格者発表	9
5. 入学手続	10
6. 注意事項	10
7. 志願者の個人情報保護について	10
8. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例措置について	11

富山大学大学院理工学教育部修士課程案内	12
---------------------	----

出願書類記入上の注意	19
------------	----

一般入試

1. 募集人員

専攻	募集人員	関連する研究施設等
数 学	若干名	
物 理 学	若干名	
化 学	若干名	水素同位体科学研究センター
生 物 学	若干名	
地 球 科 学	若干名	
生物圏環境科学	若干名	

(備考) (1) 各専攻の募集は、12～15ページの表中の備考欄に○印を付した教育分野について行います。

(2) 水素同位体科学研究センターでの修学を希望する者は、化学専攻・水素同位体科学で受験し、その旨を入学願書に明記してください。

2. 出願資格

修士課程で出願することのできる者は、次の各号の一に該当する者としてします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び平成28年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成28年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (7) 大学に3年以上在学した者及び平成28年3月31日までに大学に3年以上在学見込みの者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したと、本教育部において認めた者
- (8) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したと、本教育部において認めた者
- (9) 本教育部において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに22歳に達する者
- (10) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者

(注意) 出願資格(7)～(9)の認定については、9ページの「3. 出願資格認定申請について」を参照してください。

3. 選 抜 方 法

(1) 入学者の選抜は、学力検査（筆記及び口述）及び出身大学の学業成績証明書を総合して行います。
ただし、数学専攻、物理学専攻、地球科学専攻、生物圏環境科学専攻では筆記試験を課しません。

(2) 試験期日及び試験科目

専攻	時間等	試験日	時間	試験科目等	
数 学		平成28年 2月3日(水)	13:30～	口述試験	
物 理 学		平成27年 11月26日(木)	13:30～	口述試験	
化 学		平成27年 11月26日(木)	9:00～12:00	専門科目	化 学
			13:30～15:00	外国語科目	英 語
			16:00～	口述試験	
生 物 学		平成28年 2月3日(水)	9:00～12:00	専門科目	生 物 学
			13:30～15:00	外国語科目	英 語
			16:00～	口述試験	
地 球 科 学		平成28年 2月3日(水)	13:30～	口述試験	
生物圏環境科学					
(備考) 筆記用具として、鉛筆・消しゴム・鉛筆削り以外のものは使用を認めません。					

(3) 試験場所 富山大学理学部（富山市五福3190）

社会人特別入試

1. 募集人員

専攻	募集人員	関連する研究施設等
数 学	若干名	
生物圏環境科学	若干名	

(備考) 各専攻の募集は、12～15ページの表中の備考欄に○印を付した教育分野について行います。

2. 出願資格

平成28年4月1日現在において、社会人の経験（大学その他の学校在学期間を除く）を1年以上有している者で、且つ、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (7) 本教育部において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに22歳に達する者

(注意) 出願資格(7)の認定については、9ページの「3. 出願資格認定申請について」を参照してください。

3. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、口述試験、出身大学の学業成績等を総合して行います。
- (2) 試験期日及び試験場所

専攻	時間等	試験日	時間	試験科目等
数 学		平成28年 2月3日(水)	13:30～	口述試験
生物圏環境科学				

- (3) 試験場所 富山大学理学部（富山市五福3190）

外国人留学生特別入試

1. 募集人員

専攻	募集人員	関連する研究施設等
数 学	若干名	
物 理 学	若干名	
化 学	若干名	水素同位体科学研究センター
生 物 学	若干名	
地 球 科 学	若干名	
生物圏環境科学	若干名	

(備考) 各専攻の募集は、12～15ページの表中の備考欄に○印を付した教育分野について行います。

2. 出願資格

外国人留学生特別入試に出願できる者は、一般入試の出願資格のいずれかに該当する者で、かつ、次の要件を満たす者としてします。

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者

なお、外国人留学生特別入試への出願を希望する者は必ず、事前照会してください。

3. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、口述試験、出身大学の学業成績等を総合して行います。
- (2) 試験期日及び試験場所

専攻	時間等	試験日	時間	試験科目等
数 学		平成28年 2月3日(水)	13:30～	口述試験
物 理 学		平成27年 11月26日(木)	13:30～	口述試験
化 学				
生 物 学		平成28年 2月3日(水)	13:30～	口述試験
地 球 科 学				
生物圏環境科学				

- (3) 試験場所 富山大学理学部 (富山市五福3190)

共通事項

1. 出願期間

専攻	期間
物理学専攻 化学専攻	平成27年10月28日(水)～10月30日(金)午後4時必着
数学専攻 生物学専攻 地球科学専攻 生物圏環境科学専攻	平成28年1月6日(水)～1月8日(金)午後4時必着

(注) 受付時間は午前9時から午後4時まで(祝日を除く)です。
郵送の場合も出願期間の最終日までに必着(前日消印有効)です。

2. 出願手続

次の書類を取りそろえ、検定料を添えて、所定の期日までに下記あて提出してください。
なお、郵送の場合は書留とし、封筒に「大学院入学願書在中」と朱書してください。

「提出先 〒930-8555 富山市五福3190

富山大学理学部総務課(入試担当)」

- (1) 入学願書(所定の用紙)
- (2) 卒業(見込)証明書
出身大学の学長又は学部長の発行したもの。
なお、本学理学部卒業見込者は、提出する必要はありません。
- (3) 学業成績証明書
出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。
- (4) 受験票及び写真票(所定の用紙)
出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽、正面写し、縦約4cm、横約3cmの写真をはり付け、所要事項を記入してください。
- (5) 返信用封筒(長形3号)
受験票の送付に使用しますので、あて名及び郵便番号を明記し、郵便切手362円をはり付けてください。
- (6) 検定料振込証明書(検定料 30,000円)
検定料を本要項に綴り込みの振込依頼書により銀行振り込みの後、受領した「振込金証明書」を「検定料振込証明書」に貼って提出してください。
- (7) あて名表(所定の用紙)
- (8) 志願理由書(所定の用紙) ※社会人特別入試志願者のみ提出。
志願者本人が記入したもの。
- (9) 研究計画書(所定の用紙) ※社会人特別入試志願者のみ提出。
志願者本人が記入したもの。
- (10) 業績報告書(所定の用紙) ※社会人特別入試志願者のみ提出。
志願者本人が記入したもの。
- (11) 推薦書(任意様式) ※外国人留学生特別入試志願者のみ提出。
卒業(見込)大学の推薦書又は、これに代わるもの。
- (12) (財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験の成績通知書又は日本語能力認定書又は、これに代わるもの。 ※外国人留学生特別入試志願者のみ提出。

(13) 住民票の写し ※外国人留学生特別入試志願者のみ提出。

現に日本国に在住している外国人は、居住している市区町村が発行のもの（在留資格が明示されているもの）を添付してください。

出願書類の郵送を希望する者は、封筒の表に「修士課程学生募集要項請求」と朱書きのうえ、あて名及び郵便番号を明記し、郵便切手240円をはり付けた返信用封筒（角形2号）を同封して請求してください。

3. 出願資格認定申請について

一般入試における出願資格(7)～(9)、社会人特別入試における出願資格(7)及び外国人留学生特別入試に出願する者で一般入試における出願資格(7)～(9)により出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行いますので、予め、「出願資格認定に関する書類」を請求し、下記の申請期限に間に合うよう必要書類（学業成績証明書及び推薦書等）を添え申請してください。

専攻	申請期日
物理学専攻 化学専攻	平成27年10月9日(金)午後4時必着
数学専攻 生物学専攻 地球科学専攻 生物圏環境科学専攻	平成27年12月24日(木)午後4時必着

(注) 受付時間は午前9時から午後4時まで（祝日を除く）です。

郵送の場合も出願期間の最終日までに必着（前日消印有効）です。

大学院出願資格審査申請書の請求先及び申請先

〒930-8555 富山市五福3190

富山大学理学部総務課（入試担当）

4. 合格者発表

合格者は、以下の日時に理学部に掲示するとともに、本人にも通知します。

合格についての電話その他による問い合わせには一切応じません。

専攻	発表日
物理学専攻 化学専攻	平成27年12月4日(金)午後4時
数学専攻 生物学専攻 地球科学専攻 生物圏環境科学専攻	平成28年2月12日(金)午後4時

5. 入 学 手 続

入学手続は次のとおり行いますが、詳細は合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間 平成28年3月中旬（予定）

(2) 入学手続時に要する経費

ア 入 学 料 282,000円〔予定額〕

なお、上記の入学料は、予定額であり、入学時に入学料が改定された場合は、改定時から新たな入学料が適用されます。

(注) なお、入学辞退する場合は、必ず書面（任意様式）で手続をしてください。

イ そ の 他

学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。

(3) 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

(注1) 授業料の納付について

入学後に納付することとなります。なお、納付金額・納付方法については、入学手続時に案内します。

<参考>平成27年度授業料 年額 535,800円

(注2) 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、学資負担者が死亡し、又は風水害等の特別の事情により納付が著しく困難であると認められる者には選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

なお、奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与されます。

6. 注 意 事 項

(1) 出願手続をした後の書類の変更は認めません。

(2) 一旦、受理した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

① 検定料の返還請求ができるもの

ア 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

イ 検定料を二重に払い込んだ場合

ウ 検定料を多く払い込んだ場合

② 返還請求の方法

別紙「検定料返還請求書」により、ア及びイの場合必ず「振込金証明書（検定料）」を貼り付けて、富山大学へ郵送してください。ウの場合は、別途富山大学財務部経理課までご連絡願います。

送付先、連絡先 〒930-8555 富山市五福3190 富山大学財務部経理課

電話 (076)445-6053

(3) 所定の学力検査を一部でも受けない者は、入学者の選抜から除きます。

なお、受験の際は、必ず受験票を携帯してください。

(4) 入学許可の後においても提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

7. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

(1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

- (2) 出願にあたって知り得た個人情報、本学入学手続完了者についてのみ、入学後における①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 合格者についての氏名、住所に限り、関係団体である同窓会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。

（注）上記団体からの連絡を希望しない場合は、理学部総務課（入試担当）にその旨を申し出てください。

- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

8. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例措置について

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要請が高まっています。しかし、通常の教育方法のみで大学教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて就学する必要があるため、大学教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人技術者、教育者、研究者の就学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、**数学専攻及び生物圏環境科学専攻**では、大学院での履修を希望する社会人技術者、教育者、研究者等を積極的に受け入れるため、大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特別措置を実施しています。

教育方法の特例措置の概要は、次のとおりです。

- (1) 授業は昼夜開講制とし、通常の授業も受講できます。
- (2) 入学の際に、研究（希望）計画書を提出し、勤務形態に配慮した教育研究体制をとっています。
- (3) 個々の事情に応じて第6時限目の授業時間（18：05～19：35）を開設することにより、1年間で20単位の授業科目を履修することができます。
- (4) 個々の事情に応じて、土曜日、フレックスタイム（例えば定時制勤務の場合）、夏季休暇、冬季休暇や長期休暇等に授業科目を開設する等弾力的に対応しています。
- (5) インターネット、電子メール等を利用して迅速かつ有効な研究指導を積極的に行うなどの措置を講じ教育効果の向上を図っています。

本制度を適用して志願する者は、「**大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請書**」（所定の用紙）をその他の出願書類と併せて提出してください。

富山大学大学院理工学教育部・修士課程
（理学領域問い合わせ先）

〒930-8555 富山市五福3190
富山大学理学部総務課
電話 (076) 445-6546
FAX (076) 445-6550

富山大学大学院理工学教育部修士課程案内

1. 専攻及び教育分野

専攻	教 育 分 野		備考
数 学	数 理 解 析	関数解析学、数論、微分幾何学、変換群論、関数論、多変数関数論、実関数論等	○
	情 報 数 理	代数学、関数方程式論、応用解析学、数値解析学、確率論等	○
物 理 学	固 体 物 理 学	1 K以下の極低温にいたる広い温度範囲、10テスラ超および3 GPa超におよぶ広い磁場範囲、圧力範囲下での金属磁性体・超伝導体を示す磁氣的、電氣的、熱的な電子物性の研究	○
	ナ ノ 物 理 学	ナノ粒子・構造不規則系についての、構造と物性の両面からの研究	○
	理 論 物 理 学	素粒子の構造と相互作用に関する理論的研究、及び素粒子論に基づく宇宙物理学の研究、並びに数理物理学的手法による諸現象の理論的研究	
	電 波 物 理 学	マイクロ波・サブミリ波を用いた測定技術の開発と星間分子を中心とした分子分光学とそのデータベース整備、マイクロ波を用いた分子の運動の制御の研究	○
	レ ー ザ ー 物 理 学	遠赤外～近紫外域のコヒーレント光源開発と精密測定・分光法への応用、電磁場を用いて運動制御した原子・分子・イオンあるいは超流動ヘリウム中等に閉じこめた原子・分子の分光学的研究	○
化 学	物 理 化 学	分光学、計算化学による光物性や光反応に関する研究、構造論及び速度論的手法による不均一系触媒の活性発現機構に関する研究、溶液反応の分析・熱力学とダイナミクスの研究、およびレーザー分光法による光機能分子の励起状態ダイナミクスの研究	○
	錯 体 化 学	発光性・環境応答性・酸化還元特性を持つ金属錯体の合成と、その構造・物性に関する研究および自然界の資源再生型エネルギー変換反応を志向した機能性金属錯体に関する研究	○
	有 機 化 学	共役系化合物の合成および有機機能性材料に関する研究	○
	天 然 物 化 学	不斉反応の開発、遷移金属を用いる新規化学反応の開発および生物活性天然物の合成に関する研究	○
	生 体 機 能 化 学	核酸高分子 RNA が高度な生体機能を発現する機構の解明と、その機構を設計指針とした新規 RNA 機能の人工創製に関する研究	○
	水 素 同 位 体 科 学	水素エネルギー及び核融合炉燃料としての水素同位体の機能性、及び機能性材料に関する研究 水素の同位体効果とトリチウムの壊変効果に関する研究	○
生 物 学	形 態 学	種子植物の系統分類学、水棲動物の生殖・発生及び種分化に関する研究、昆虫類の生態学・進化発生学、昆虫と微生物の共生生物学	○
	細 胞 生 物 学	高等植物の遺伝子の構造・機能及び発現調節、高等植物の根の形態形成	○
	生 体 制 御 学	脊椎動物におけるホルモンと受容体の生理生化学的研究及び神経行動学に関する研究、光周性を中心とした昆虫生理学、体内時計振動機構の分子神経生理学	○

専攻	教育分野		備考
地球科学	地殻構造学	現在及び過去の地球の変動に関する地球電磁気学、岩石磁気学の手法による研究	○
	雪氷学	物理的手法による雪氷の物性と環境科学的研究。特に、雪・氷・クラスレート・ハイドレートの核生成・結晶成長、雪氷-大気の相互作用の広域把握の研究	○
	海洋学	外洋と沿岸海洋の物理過程の研究を主体とした大気・海洋・陸域過程の相互作用に関する研究	○
	地球ダイナミクス	地震活動・地殻変動、マントル・ダイナミクスから気象現象・気候変動にいたる現在進行中の地球変動現象の研究	○
	地球進化学	世界の変動帯における岩石・鉱床並びにそれらを規制するテクトニクスの研究、マグマと火山噴火に関する研究、層序と古生物に関する研究	○
生物圏環境科学	環境化学計測	水中の微量成分の分析方法や排水中の有害成分の除去方法の開発、微量元素・同位体を用いた物質の起源や循環、分布に関する研究等	○
	生物圏機能	植物の水分や重金属ストレス耐性、微生物による環境評価・修復、野生動物や高山植物の生態並びに環日本海地域の自然環境と環境問題に関する研究等	○

(注) 各専攻の募集は、表中の備考欄に○印を付した教育分野について行います。

2. 教員及び教育分野

専攻	教育分野	教員		備考
		教授	准教授	
数学	数理解析	教授	阿部 幸隆	○
		教授	菊池 万里	
		教授	古田 高士	
		教授	永井 節夫	
		教授	藤田 景子	
		准教授	川部 達哉	
	情報数理	教授	池田 榮雄	○
		教授	藤田 安啓	
		教授	山根 宏之	
		准教授	上田 肇一	
		准教授	出口 英生	
		助教	幸山 直人	
物理学	固体物理学	教授	桑井 智彦	○
		准教授	※水島 俊雄	
		准教授	田山 孝	
	ナノ物理学	教授	※飯田 敏	○
		教授	池本 弘之	
	理論物理学	教授	栗本 猛	○
		准教授	兼村 晋哉	
		助教	柿崎 充	
	電波物理学	准教授	小林 かおり	○
		准教授	榎本 勝成	
	レーザー物理学	教授	松島 房和	○
		教授	森脇 喜紀	

化 学	物 理 化 学	教 授	野 崎 浩 一	○	
		准 教 授	大 澤 力		
		准 教 授	鈴 木 炎		
		講 師	岩 村 宗 高		
	錯 体 化 学	教 授	柘 植 清 志	○	
		准 教 授	大 津 英 揮		
	有 機 化 学	教 授	樋 口 弘 行	○	
		准 教 授	林 直 人		
		助 教	吉 野 惇 郎		
	天 然 物 化 学	准 教 授	宮 澤 眞 宏	○	
		講 師	横 山 初		
	生 体 機 能 化 学	教 授	井 川 善 也	○	
		助 教	松 村 茂 祥		
	水 素 同 位 体 科 学	教 授	阿 部 孝 之	○	
		教 授	波 多 野 雄 治		
		准 教 授	鳥 養 祐 二		
		准 教 授	原 正 憲		
		講 師	田 口 明		
	生 物 学	形 態 学	教 授	岩 坪 美 兼	○
			准 教 授	山 崎 裕 治	
准 教 授			前 川 清 人		
准 教 授			土 田 努		
細 胞 生 物 学		教 授	若 杉 達 也	○	
		教 授	唐 原 一 郎		
		講 師	山 本 将 之		
生 体 制 御 学		教 授	松 田 恒 平	○	
		教 授	池 田 真 行		
		准 教 授	菊 川 茂		
		講 師	今 野 紀 文		
		助 教	中 町 智 哉		
地 球 科 学	地 殻 構 造 学	教 授	酒 井 英 男	○	
		助 教	川 崎 一 雄		
	雪 氷 学	准 教 授	島 田 互	○	
		准 教 授	杉 浦 幸 之 助		
	海 洋 学	教 授	松 浦 知 徳	○	
	地 球 ダイナミクス	教 授	安 永 数 明	○	
		教 授	渡 邊 了		
		教 授	青 木 一 真		
	地 球 進 化 学	准 教 授	楠 本 成 寿	○	
		教 授	清 水 正 明		
		教 授	大 藤 茂		
		准 教 授	柏 木 健 司		
		准 教 授	石 崎 泰 男		

生物圏環境科学	環境化学計測	教授	張 勁	○
		教授	※上 田 晃	
		教授	丸 茂 克 美	
		教授	倉 光 英 樹	
		准教授	波 多 宣 子	
		准教授	堀 川 恵 司	
	生物圏機能	教授	※中 村 省 吾	○
		教授	田 中 大 祐	
		教授	和 田 直 也	
		教授	横 畑 泰 志	
		准教授	蒲 池 浩 之	
		准教授	石 井 博	
	助教	酒 德 昭 宏		

(注) ※印の教員は、平成29年3月退職予定です。

各専攻の募集は、表中の備考欄に○印を付した教育分野について行います。

3. 修了の要件

本学大学院理工学教育部修士課程に2年以上在学し、各専攻所定の科目を30単位以上修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士（理学）の学位を授与します。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。

4. 長期履修制度

長期履修制度とは、職業(常勤)等を有している等の理由により、授業や研究指導の履修時間が制約され、標準修業年限では修了が困難な方のために、標準修業年限を超えた一定の期間にわたって計画的に教育課程を履修して修了する制度です。本修士課程では最長4年までの在学期間を認めています。原則として、入学時に申請し許可されれば、標準修業年限(2年)において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うこととなります。

※申請方法等は、入学手続き書類郵送時にお知らせします。

※申請しても許可されない場合もありますので、ご承知おきください。

5. 授業科目及び単位数

理学領域

専攻	授業科目	単位数	備考	
数 学 専 攻	代数学特論A	2	○印は必修科目	
	代数学特論B	2		
	幾何学特論A	2		
	幾何学特論B	2		
	解析学特論A	2		
	解析学特論B	2		
	解析学特論C	2		
	解析学特論D	2		
	応用数理特論A	2		
	応用数理特論B	2		
	数学コアA	2		
	数学コアB	2		
	数学コアC	2		
	数学コアD	2		
	数学コアE	2		
	数学コアF	2		
	数学特論	*		*印を付した数学特論の単位数は、必要に応じて定める。
	科学普及活動実習Ⅰ	1		
	科学普及活動実習Ⅱ	1		
	理学人材キャリア形成	1		
○ゼミナール	6			
○数学特別研究	14			
物 理 学 専 攻	凝縮系物理学Ⅰ	2	○印は必修科目	
	凝縮系物理学Ⅱ	2		
	低温物理学	2		
	素粒子物理学Ⅰ	2		
	素粒子物理学Ⅱ	2		
	場の量子論Ⅰ	2		
	場の量子論Ⅱ	2		
	回折物理学	2		
	結晶物理学	2		
	不規則系物理学	2		
	ナノ粒子物理学	2		
	分光学Ⅰ	2		
	分光学Ⅱ	2		
	量子エレクトロニクス	2		
	原子分子物理学	2		
	現代物理学特論	2		
	物理学特別講義	1		
	科学普及活動実習Ⅰ	1		
	科学普及活動実習Ⅱ	1		
	理学人材キャリア形成	1		
	○ゼミナール	6		
	○物理学特別研究	14		

専攻	授業科目	単位数	備考
化学専攻	触媒化学	2	○印は必修科目
	表面化学	2	
	光化学	2	
	分光化学	2	
	溶液化学特論	2	
	構造無機化学	2	
	有機機能性分子構造論	2	
	固体有機化学	2	
	有機合成化学	2	
	天然物化学	2	
	有機金属化学	2	
	生体機能化学	2	
	固体物理化学	2	
	放射線化学特論	2	
	機能性材料学	2	
	エネルギー変換特論	2	
	同位体化学	2	
	リサイクル化学特論	2	
	最先端化学特論	2	
	反応物性化学特別講義	1	
	合成有機化学特別講義	1	
	水素同位体科学特別講義	1	
	化学特別実験	2	
科学普及活動実習Ⅰ	1		
科学普及活動実習Ⅱ	1		
理学人材キャリア形成	1		
○ゼミナール	6		
○化学特別研究	14		
生物学専攻	細胞生物学特論	2	○印は必修科目
	動物生理学特論	2	
	比較内分泌学特論	2	
	時間生物学特論	2	
	共生機能科学特論	2	
	生体制御学特論	2	
	生体機能調節学特論	2	
	情報伝達物質化学特論	2	
	分子育種学特論	2	
	進化遺伝学特論	2	
	生態発生学特論	2	
	生物学特別実験	2	
	科学普及活動実習Ⅰ	1	
	科学普及活動実習Ⅱ	1	
	理学人材キャリア形成	1	
	○ゼミナール	6	
	○生物学特別研究	14	

専攻	授業科目	単位数	備考
地球科学専攻	地殻物理学特論	2	○印は必修科目
	地震学特論	2	
	地球電磁気学特論	2	
	気候力学特論	2	
	大気物理学特論	2	
	海洋物理学特論	2	
	雪氷学特論	2	
	雪氷圏変動論	2	
	古生物学特論	2	
	火山学特論	2	
	構造地質学	2	
	地球変動論	2	
	鉱床学特論	2	
	地球進化学	2	
	地質学巡検Ⅰ	3	
	地質学巡検Ⅱ	1	
	地球科学特論	2	
	地球科学特別講義Ⅰ	2	
	地球科学特別講義Ⅱ	2	
	科学普及活動実習Ⅰ	1	
	科学普及活動実習Ⅱ	1	
	理学人材キャリア形成	1	
	○ゼミナール	6	
○地球科学特別研究	14		
生物圏環境科学専攻	環境化学特論	2	○印は必修科目
	環境化学計測論	2	
	環境無機反応論	2	
	環境水質特論	2	
	水圏化学特論	2	
	環境物質循環特論	2	
	同位体地球化学特論	2	
	環境生物学特論	2	
	環境微生物学特論	2	
	植物生態学特論	2	
	環境植物生理学特論	2	
	生態学特論	2	
	進化生物学特論	2	
	微生物生態学特論	2	
	生物統計学	2	
	生物圏環境科学特別講義Ⅰ	1	
	生物圏環境科学特別講義Ⅱ	1	
	生物圏環境科学特別実験	2	
	科学普及活動実習Ⅰ	1	
	科学普及活動実習Ⅱ	1	
	理学人材キャリア形成	1	
	○ゼミナール	6	
	○生物圏環境科学特別研究	14	

出願書類記入上の注意

1. 全般について

- (1) 記入には黒色のボールペンを用い、文字は楷書でていねいに書いてください。※印欄は記入しないでください。
- (2) 該当する事項を○で囲み、写真を所定欄にはりつけてください。
- (3) 数字は算用数字を用いてください。
- (4) 出願書類を提出した後は、記載事項の変更はできません。
- (5) 入学許可の後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

2. 入学願書・受験票・写真票について

- (1) 氏 名
戸籍（外国人の場合は、住民票の写し）に記載してあるとおりに記入してください。
なお、国籍は外国人のみ記入してください。
- (2) 専攻名・教育分野
専攻名は、「募集人員」の専攻名を、教育分野は、「富山大学大学院理工学教育部修士課程案内」の「2. 教員及び教育分野」を参照のうえ記入してください。
なお、教育分野は、第2志望まで記入してください。
第2志望の希望がない場合は、斜線を引いてください。
- (3) 出願資格
出身大学、学部学科名及び卒業（見込）年月日を記入し、該当のものを○で囲んでください。
- (4) 入学時期及び入試区分
該当するいずれかを○で囲んでください。
- (5) 履 歴
高等学校もしくは高等専門学校卒業時から学歴及び職歴を記入してください。外国人留学生は、初等教育から空白期間のないように記入してください。
- (6) 試験・入学等に関する通知場所
出願時から入学決定時まで、確実に受信できる場所及び電話番号を記入してください。
なお、出願後、変更等が生じた場合は、速やかに届け出てください。
- (7) 写真票・受験票の入学時期
該当するいずれかを○で囲んでください。

入学前の麻しん（はしか）・風しん（ふうしん）予防接種について

近年、麻しん（はしか）・風しん（ふうしん）が青少年の間に流行し、社会的に大きな問題になっています。

この対策として、現在、麻しん（はしか）・風しん（ふうしん）混合ワクチンの定期接種が行われていますが、未接種者も多く見られます。これらの感染症は非常に感染力が強く、予防接種未接種者や予防接種を2回受けていない人は、免疫力が不十分であると言われてしています。

自分自身を感染から守り、学生間での集団感染や感染拡大を未然に防止するために、免疫力が不十分な人は、入学前に麻しん（はしか）・風しん（ふうしん）の予防接種を受けておくことを推奨します。

この件に関する問い合わせ先：富山大学保健管理センター 電話(076)445-6911